



No. 3 7

有脇小学校校長だより

2020・6・3

やっぱい子どもたちの笑い声は最高だね



6月1日、学校が再開されました。3か月間の休校でした。未だかつてない状態に世界が見舞われています。でも、子どもたちはよく3か月間我慢しましたね。

学校は再開されましたが、今までとは違う生活をしなければなりません。授業の仕方も大きく変わります。今は目に見えないウィルスとともに生活することを考えていかななくてはなりません。特に注意することは次の点です。(毎度同じですが。)

- ・ 3密（密集・密閉・密接）をできるだけさける。
- ・ うがい・手洗い・換気をこまめにし、マスクを着用する。
- ・ 家庭での健康状態を把握する。(毎朝の検温と健康状態のチェック)

それでもやっぱり子どもたちの声が響く学校はいいです。学校という「物」に「命」が吹き込まれたようです。子どもたちと話をするのは本当に楽しいです。

とは言っても、油断は禁物です。活動が活発になれば、感染の可能性も増えてきます。特に、これから暑くなってくると、マスクを付けるのがわずらわしくなりそうです。学校では給食時と体育科の授業ではマスクをはずします。それ以外は基本的にマスクを付けて過ごします。ただ、マスク



を付け続けることで、顔に熱がこもり、熱中症になることが心配されます。こまめな水分補給、昇降口のみストシャワーの活用、午後の水分の確保、適宜マスクをはずす等、対策を講じていきます。いろいろな場面を想定して対応していきます。

給食が始まりました

令和2年2月28日、突然令和元年度最後の給食だと言われ、特に6年生はお祝い給食も食わず、せめてもの思い出づくりとして机を輪にして食べたのを覚えています。献立は「カレーうどん・アジフライ・みかんゼリーポンチ・牛乳」でした。あれから3か月、今日2年生から6年生の給食が再開されました。献立は「ロールパン・イチゴジャム・とんかつ・牛乳」でした。今週は配膳しやすいものになっています。ただ、その様子は一変しました。全員が前を向き、決められた人数だけが一方通行のルートに沿って、セルフサービスで受け取ります。マスクをはずし、おしゃべりは一切ありません。とても静かな給食です。どのクラスもです。でも再開できたんです。給食センターの方も、急遽献立を変更して、作っていただきました。食材の確保やアレルギー対応など、やることは本当にたくさんあったはずですが。今までも、マスクの寄付や消毒液の寄付、いろいろな方の善意と努力のおかげで、少しずつ子どもたちの学校生活が成り立ち始めました。本当にうれしいことです。ありがとうございました。



「うがい・手洗い」これで大丈夫

とんかつ・ハムステーキ・レンコンサンドフライ・・・最高

各階にある手洗い場に足形が貼ってあります。

順番を待つ時に密集しないためです。蛇口も一つおきにカップがかぶせてあって、使えません。手洗いや歯みがきの時に水が飛び散らないように念のため離してあります。授業でも、いろいろな工夫がなされています。さらに、子どもたちが帰った後は、教職員で消毒作業を毎日行います。

いろいろなことを想定して対応することは大切なことだと思います。

ただ、心配しすぎて何もできなくなってしまうのはおかしな話ですね。子どもたちにとって、できるだけ安全で安心できる環境を整えていきたいと思っています。

